今後の物流政策の基本的な方向性等に関するご意見　様式

団体名：日本機械輸出組合　国際貿易円滑化委員会

①別添「検討の視点」をご確認いただき、今後講ずるべき施策についてのご意見がありましたらご記入下さい。（複数ある場合は箇条書きにて記載をお願い致します。）

今後の物流政策の基本的な方向性等について、日本機械輸出組合 国際貿易円滑化委員会で審議した結果に基づき、以下のとおり意見提出させて頂きます。

はじめに、今回お示し頂いた「検討の視点」は、平成 25 年に取りまとめられた「総合物流施策大綱 (2013-2017)」(平成 25 年 6 月 25 日閣議決定)に基づき策定された「総合物流施策推進プログラム」の物流施策と多くの項目が共通しています。従って、今後の物流政策の基本的な方向性をご検討頂く上では、ぜひ同プログラムの施策と一貫性と継続性をもたせ、PDCA方式による適切な進捗管理のもとで着実に実行されるようお願いいたします。

また、敢えてコメントさせて頂くのであれば、世界的なサプライチェーンセキュリティ・セーフティ対策の強化、IT 技術の進歩が進む中で、サプライチェーンの効率化、円滑化に向けた物流政策の実行が求められる時代にあって、以下の施策を関係省庁、民間のパートナーシップで進めていくことをご検討頂きますようお願いいたします。

「世界のセキュリティ、セーフティ対策への対応に向け、港湾・空港での貨物の集中監視、管理、検査を可能とするインフラ整備、運用体制の構築および所要の制度対応」
（具体例：航空貨物保安制度強化に伴う空港周辺での爆発物検査体制の整備、我が国で認証を受けたコンテナ重量計測器の港湾への設置等）

②その他、今回の審議会での検討に関してご意見がありましたらご記入下さい。（複数ある場合は箇条書きにて記載をお願い致します。）